



# 第32期（2016年12月期） 決算補足説明資料

2017年2月9日  
サイバネットシステム株式会社

つくる情熱を、支える情熱。  
**CYBERNET**

## 略式記号について

15.12/4Q

2015年 12 月期 第4四半期期間

15.12

2015年 12 月期 通期

16.12/4Q

2016年 12 月期 第4四半期期間

16.12

2016年 12 月期 通期

17.12E

2017年 12 月期 通期予想

## ◆ 2016年12月期 決算の概況


[連結]業績の概況	5
[連結]営業利益の増減要因（前年同期比較）	6
[連結]営業利益の増減要因（計画比較）	7
[連結]貸借対照表	8
[連結]キャッシュ・フロー計算書	9
[連結]四半期売上高の推移	10
[連結]セグメント別損益の概況	11
[連結]事業別売上高の増減要因（前年同期比較）	12
[連結]事業別売上高の構成比	13
[連結]事業別営業利益の増減要因（前年同期比較）	14
[個別]ソリューション別の概況	15
[個別]応用分野別売上高	17
[個別]業種別売上高	19
[個別]ライセンス契約別売上高	21
[連結]海外子会社の状況	22
[連結]当期の配当の状況	24

## ◆ 2017年12月期 業績予想

[連結]来期の業績予想	26
[連結]来期の配当予想	27

## ◆ 参考資料

個別業績等を記載しております。



# 2016年12月期 決算の概況

つくる情熱を、支える情熱。  
**CYBERNET**

# [連結] 業績の概況

CYBERNET

(単位：百万円)

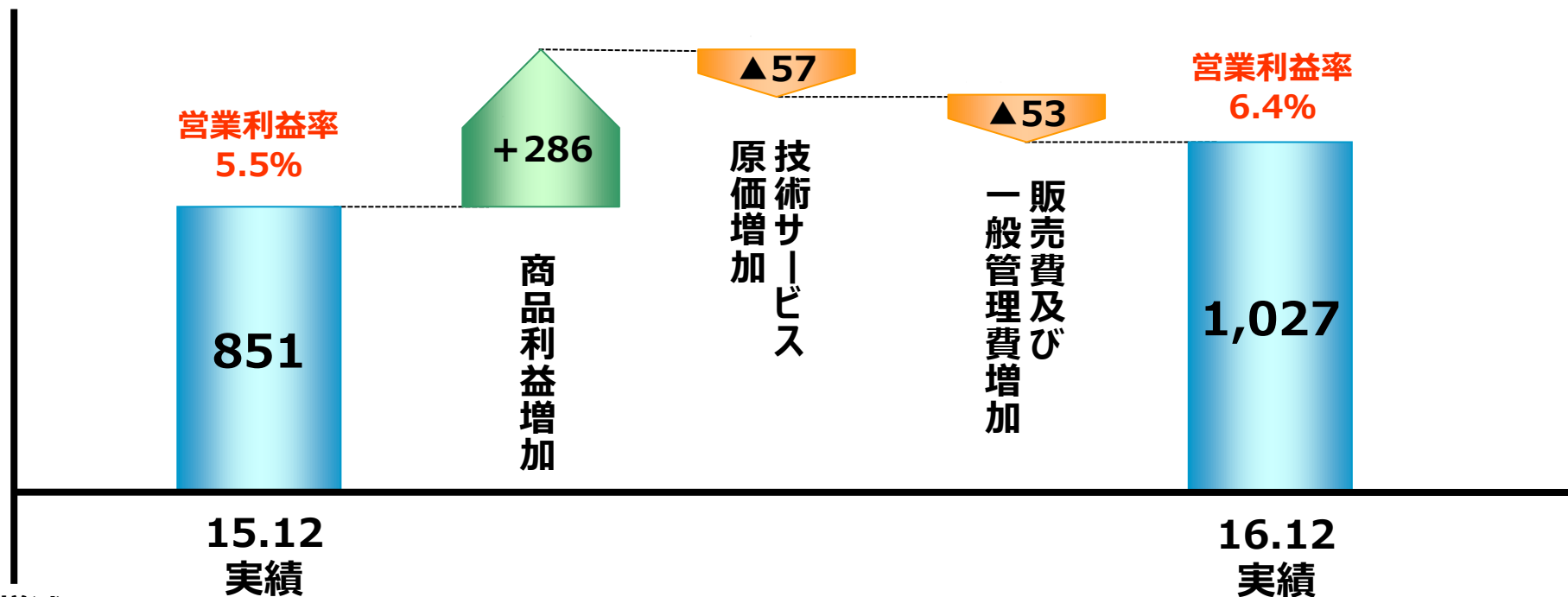
	16.12	15.12			16.12		
	実績	実績	前同差	前同比	計画	計画差	計画比
売上高	16,031	15,518	+ 513	103.3%	16,800	▲ 768	95.4%
営業利益	1,027	851	+ 175	120.6%	950	+ 77	108.2%
営業利益率	6.4%	5.5%	+ 0.9P		5.7%	+ 0.7P	
経常利益	1,001	1,003	▲ 1	99.9%	1,048	▲ 46	95.6%
経常利益率	6.2%	6.5%	▲ 0.3P		6.2%	+ 0.0P	
親会社株主に帰属する 当期純利益	462	463	▲ 1	99.7%	461	+ 1	100.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益率	2.9%	3.0%	▲ 0.1P		2.7%	+ 0.2P	
のれん償却前営業利益	1,347	1,228	+ 118	109.6%	1,316	+ 30	102.4%
のれん償却前営業利益率	8.4%	7.9%	+ 0.5P		7.8%	+ 0.6P	

※P：ポイント

※「当期純利益」から「親会社株主に帰属する当期純利益」に名称を変更しております

# [連結] 営業利益の増減要因 (前年同期比較)

(単位：百万円)



## 前期比増減要因

### ○商品利益の主な増減加要因

為替換算の影響による減少額▲422百万円・売上高増加による増加額+666百万円

国内売上高増加：マルチフィジックス解析ツール・光学設計分野・モデルベース開発エンジニアリングサービス・セキュリティ関連ソリューション

海外売上高増加：米国の開発子会社・台湾の販売子会社

### ○技術サービス原価・販売費及び一般管理費の主な増減要因

為替換算の影響による経費減少額▲464百万円・採用拡大による人件費増加額+514百万円

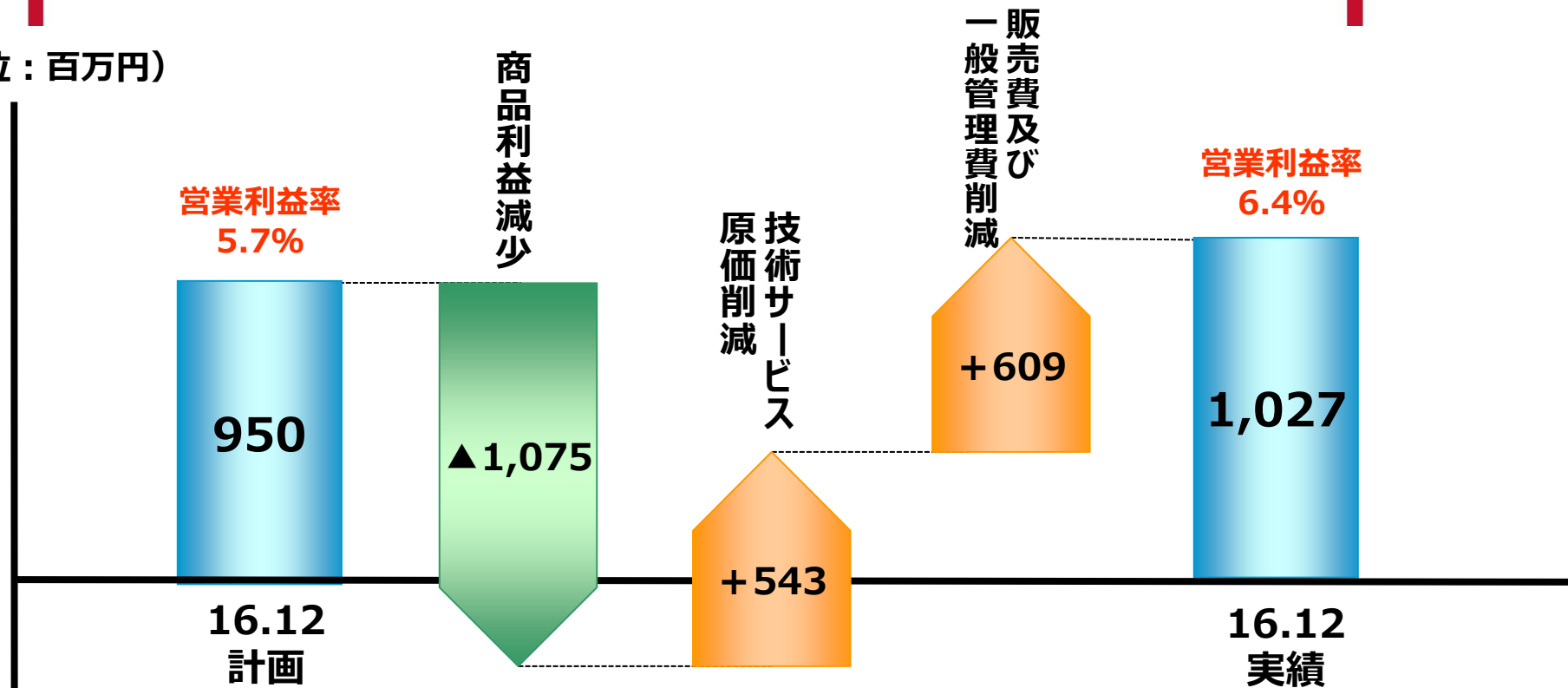
### ○営業利益の主な増減要因

為替換算により商品利益は減少しておりますが、経費も同様に減少していることから、為替換算による営業利益への影響は+41百万円となっております。

売上高増加による商品利益の増加が、営業利益の主な増加要因となっております。

# [連結] 営業利益の増減要因 (計画比較)

(単位：百万円)



## 計画比増減要因

- 商品利益の主な増減要因  
 為替換算の影響による減少額▲494百万円、原価率上昇等による減少額▲416百万円
- 技術サービス原価・販売費及び一般管理費の主な増減要因  
 為替換算の影響による経費減少額▲490百万円、採用未達による人件費減少額▲105百万円、経費減少額▲558百万円
- 営業利益の主な増減要因  
 為替換算により商品利益は減少しておりますが、経費も同様に減少しており、為替換算による営業利益への影響は▲5百万円となっております。  
 原価率が上昇したことにより商品利益は減少しましたが、経費が減少したことにより営業利益は増加しております。

# [連結] 貸借対照表

CYBERNET

(単位：百万円)

	15.12	16.12	前期末差
<b>流動資産</b>	<b>14,857</b>	<b>15,680</b>	<b>822</b>
現金及び預金	2,755	2,777	21
受取手形及び売掛金	3,701	3,950	248
有価証券	3,800	4,500	699
短期貸付金	3,011	3,068	57
その他	1,588	1,384	▲ 204
<b>固定資産</b>	<b>4,028</b>	<b>3,842</b>	<b>▲ 186</b>
有形固定資産	320	329	9
無形固定資産	2,854	2,747	▲ 106
投資その他の資産	853	764	▲ 88
<b>資産合計</b>	<b>18,885</b>	<b>19,522</b>	<b>636</b>
<b>流動負債</b>	<b>4,175</b>	<b>4,701</b>	<b>526</b>
買掛金	1,027	1,065	37
未払法人税等	132	343	211
前受金	1,996	2,035	38
賞与引当金	282	436	153
その他	735	820	85
<b>固定負債</b>	<b>1,150</b>	<b>1,278</b>	<b>128</b>
退職給付に係る負債	1,090	1,225	135
その他	60	53	▲ 7
<b>負債合計</b>	<b>5,325</b>	<b>5,980</b>	<b>654</b>
<b>純資産合計</b>	<b>13,560</b>	<b>13,541</b>	<b>▲ 18</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>18,885</b>	<b>19,522</b>	<b>636</b>

## 前期末差増減要因

- ① 受取手形及び売掛金（前期末差 + 248百万円）  
売上高増加により、売上債権の増加
- ② 有価証券（前期末差 + 699百万円）  
投資額の増加
- ③ のれん（前期末差 ▲ 370百万円）  
償却▲ 319百万円及び為替換算▲ 51百万円  
により減少



# [連結] キャッシュ・フロー計算書

CYBERNET

(単位：百万円)

	15.12	16.12	前同差
営業活動によるキャッシュ・フロー	487	1,573	1,085
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,470	380	▲ 1,090
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 481	▲ 420	60
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 52	▲ 11	40
現金及び現金同等物の増減額	1,424	1,521	96
現金及び現金同等物の期首残高	4,239	5,664	1,424
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	5,664	<b>7,186</b>	1,521

## 前年同期比増減要因

- 営業活動によるキャッシュ・フロー  
法人税等の支払額の減少等によりプラス
- 投資活動によるキャッシュ・フロー  
有価証券の償還による収入の減少等によりマイナス
- 財務活動によるキャッシュ・フロー  
配当金の支払額の減少等によりプラス

# [連結] 四半期売上高の推移

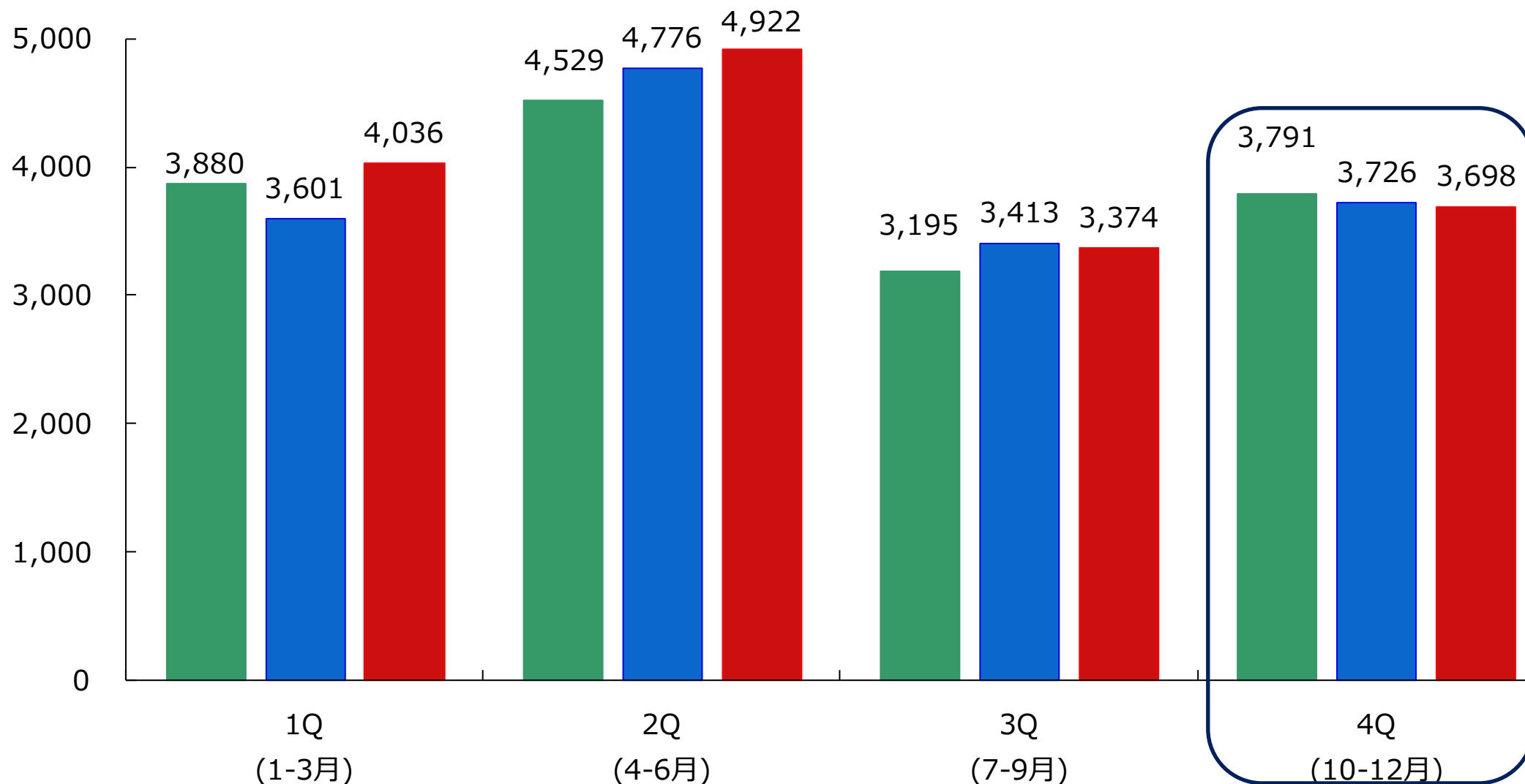
CYBERNET

緑：14.12

青：15.12

赤：16.12

(単位：百万円)



# [連結] セグメント別損益の概況

CYBERNET

(単位：百万円)

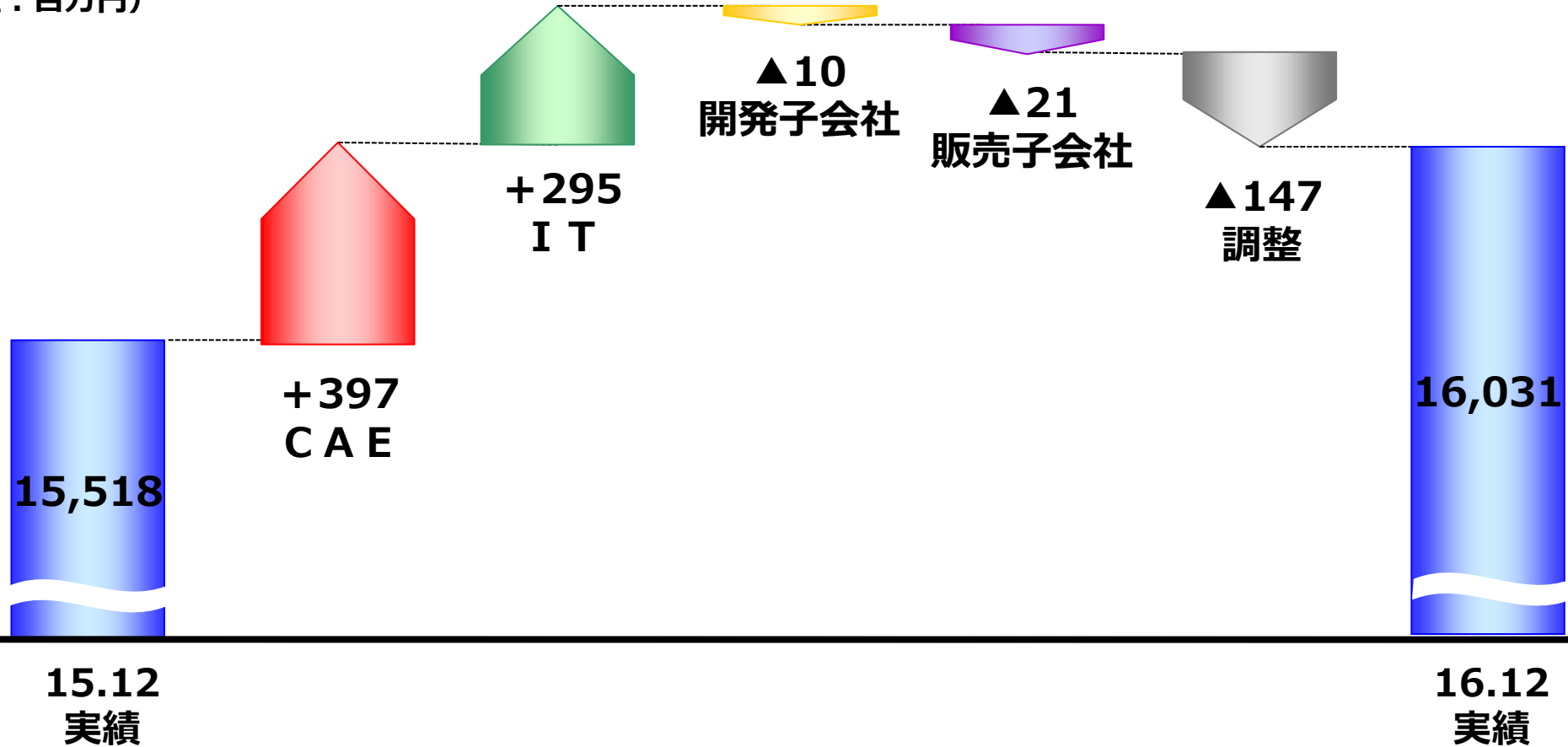
	15.12	16.12		
	実績	実績	前同差	前同比
<b>売上高 合計</b>	<b>15,518</b>	<b>16,031</b>	<b>+ 513</b>	<b>103.3%</b>
CAEソリューションサービス事業	12,878	13,166	+ 287	102.2%
ITソリューションサービス事業	2,708	3,004	+ 295	110.9%
調整額	▲ 69	▲ 138	▲ 69	—
<b>セグメント利益（営業利益） 合計</b>	<b>851</b>	<b>1,027</b>	<b>+ 175</b>	<b>120.6%</b>
CAEソリューションサービス事業	1,959	2,252	+ 293	115.0%
ITソリューションサービス事業	268	361	+ 92	134.3%
調整額	▲ 1,376	▲ 1,586	▲ 210	—

- 注) 1. 調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。
2. CAEソリューションサービス事業はCAE、開発子会社、販売子会社の合計です。
3. 当期より、「CAEソリューションサービス事業」の一部を組織変更に伴い「ITソリューションサービス事業」に変更しております。なお、前期のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

# [連結] 事業別売上高の増減要因 (前年同期比較)

CYBERNET

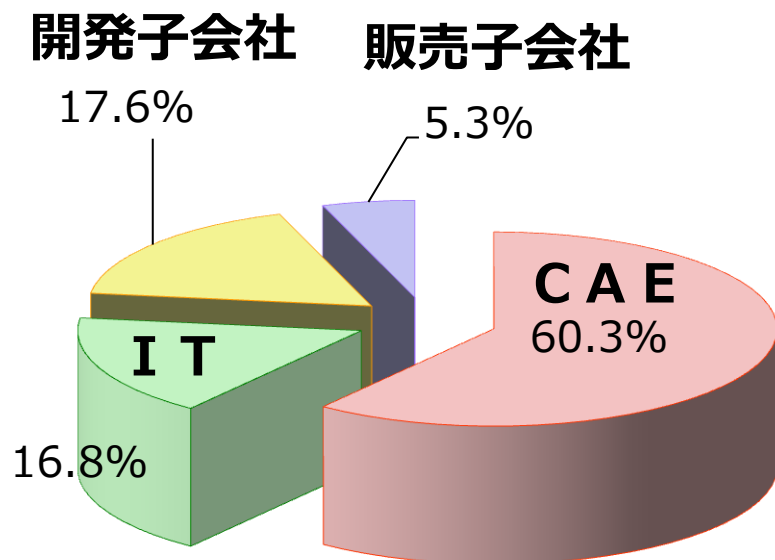
(単位：百万円)



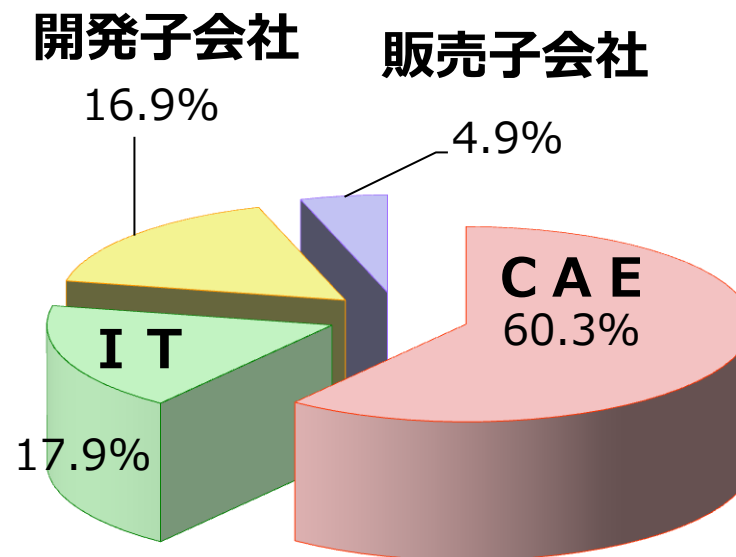
注) 各事業の分類は以下となります。

- ・CAEとは、個別におけるCAEソリューションサービス事業となります。
- ・ITとは、個別におけるITソリューションサービス事業となります。
- ・開発子会社とは、連結対象の欧米の開発子会社3社の合計数値となります。
- ・販売子会社とは、連結対象のアジアの販売子会社2社の合計数値となります。
- ・調整とは、連結調整とセグメント間調整の合計数値となります。

# [連結] 事業別売上高の構成比



連結売上高  
15,518百万円  
15.12



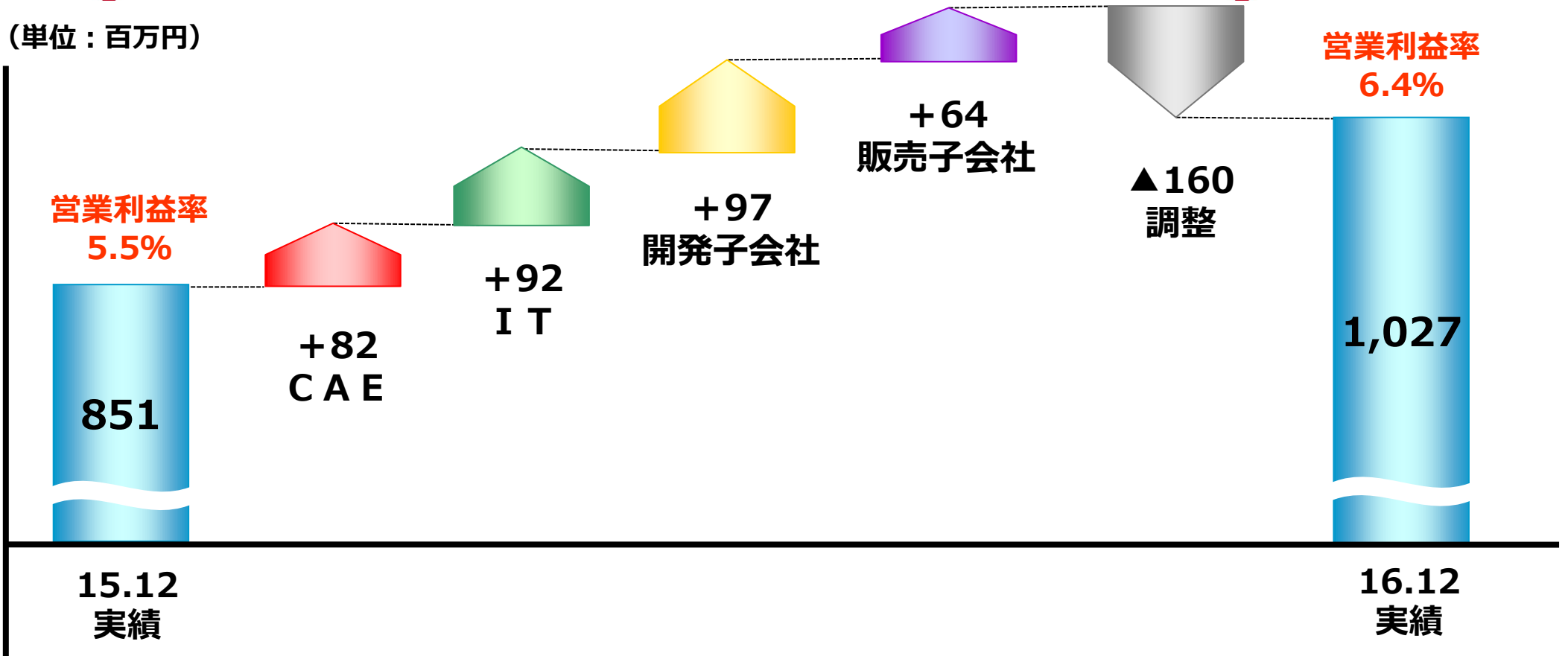
連結売上高  
16,031百万円  
16.12

注) 上記数値は、連結調整及びセグメント間調整を除いた構成比です。

# [連結] 事業別営業利益の増減要因 (前年同期比較)

CYBERNET

(単位：百万円)



注) 上記数値は、前期営業利益に対する事業別の増減額となります。  
 各事業の分類は前ページの売上高と同様となります。  
 調整には、連結調整と全社費用が含まれております。

# 【個別】ソリューション別の概況

## CAEソリューションサービス

<b>M C A E 分野</b>	主力のマルチフィジックス解析ツールの新規ライセンス販売は、大口顧客向けの包括契約や大手製造業からの受注があったものの、電気機器業界及び自動車関連業界からの受注が落込み、軟調に推移。保守契約の更新は、機械・精密機器業界からの受注が増加したことにより、好調に推移。
<b>光学設計分野</b>	主力商品である照明設計解析ソフトウェアの新規ライセンス販売は、電気機器業界からの受注が落ち込み低調に推移したが、保守契約の更新は、機械・精密機器業界を中心に堅調に推移。光学設計評価プログラムの新規ライセンス販売は、機械・精密機器業界からの受注により好調に推移し、保守契約の更新も堅調に推移。自動車用照明設計プラットフォームは、新規ライセンス販売及び保守契約の更新ともに好調に推移。
<b>E D A 分野</b>	電子回路基板設計ソリューションは、取扱商品の変更に伴う立ち上げが徐々に進み、新規ライセンス販売及び保守契約の更新ともに、当初期待した計画には至らないものの、前年同期を上回った。プリント基板（PCB）エンジニアリングサービスは、自動車関連業界からの受注が好調に推移。
<b>M B D 分野</b>	当社グループ製品である1D CAEツールの新規ライセンス販売は、電気機器業界からの受注により好調に推移し、保守契約の更新も好調に推移。モデルベース開発エンジニアリングサービスは、自動車関連業界からの自動運転技術やシミュレーション環境構築などに関する受託開発・コンサルティング及び電気機器業界からの受注により、好調に推移。
<b>テスト・計測分野</b>	当社が開発したFPD（Flat Panel Display）自動検査システムは、電気機器業界からの大型受注があったものの前年の中国向け大型案件分をカバーするには至らず。
<b>その他分野</b>	当社グループ製品である最適設計支援ツールの新規ライセンス販売は、自動車関連業界からの受注が増加したものの、電気機器業界からの受注が落ち込み、横ばいに推移したが、保守契約の更新は、好調に推移。3次元公差マネジメントツールの新規ライセンス販売及び保守契約の更新は、電気機器業界及び自動車関連業界等からの受注により好調に推移。

ITソリューションサービス	
ITソリューション分野	主力商品である大手開発ベンダのセキュリティ関連ソリューションの新規ライセンス販売は、クラウドモデルの新規受注等により、好調に推移。保守契約の更新も、月額課金モデルの成長により堅調に推移。ディスク暗号化ソフトウェアは、セキュリティ事故対策への市場のニーズに支えられ、新規ライセンス販売及び保守契約の更新ともに好調に推移。また、クラウド環境の普及に伴い、クラウドサービスは好調に推移し、クラウド型シングルサインオン・アクセスコントロールの新規ライセンス販売及び保守契約の更新ともに好調に推移。
データソリューション分野	イノベーション支援ソリューションの新規ライセンス販売及び保守契約の更新は、大手製造業からの複数の大型受注により好調に推移。医療可視化分野は、気管支系の診断支援システムが、機械・精密機器業界及び中国企業からの受注により、好調に推移。AR（※）/VR分野は、前年開始した自社ARサービスは順調に立ち上がり、開発請負サービスは好調に推移。また、産業用ARサービスやVRを使った設計レビューシステムの引き合いが増加。

（※） Augmented Reality（拡張現実）の略称。

注） 2016年度において組織再編を行った結果、ビッグデータ分野と可視化分野を統合してデータソリューション分野とし、セグメントをCAEソリューションサービス事業からITソリューションサービス事業に変更しております。



# [個別] 応用分野別売上高

CYBERNET

<第4四半期>

(単位：百万円)

	15.12/4Q		16.12/4Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
MCAE	1,263	45.0%	1,243	44.1%	▲ 20	98.4%
光学設計	342	12.2%	300	10.7%	▲ 42	87.7%
EDA	150	5.3%	99	3.5%	▲ 50	66.5%
MBD	272	9.7%	290	10.3%	+ 17	106.3%
テスト・計測	22	0.8%	9	0.3%	▲ 12	41.5%
その他	97	3.5%	111	4.0%	+ 14	115.0%
CAE合計	2,148	76.5%	2,054	72.9%	▲ 94	95.6%
ITソリューション	473	16.8%	509	18.1%	+ 36	107.7%
データソリューション	187	6.7%	254	9.0%	+ 66	135.7%
IT合計	660	23.5%	764	27.1%	+ 103	115.6%
合計	2,809	100.0%	2,818	100.0%	+ 8	100.3%

# [個別] 応用分野別売上高

CYBERNET

<通期>

(単位：百万円)

	15.12		16.12			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
MCAE	5,462	44.3%	5,653	43.6%	+ 191	103.5%
光学設計	2,530	20.5%	2,602	20.1%	+ 71	102.8%
EDA	391	3.2%	399	3.1%	+ 7	102.0%
MBD	734	6.0%	872	6.7%	+ 137	118.8%
テスト・計測	141	1.1%	62	0.5%	▲ 78	44.3%
その他	350	2.8%	344	2.7%	▲ 5	98.4%
CAE合計	9,611	77.9%	9,935	76.7%	+ 324	103.4%
ITソリューション	1,819	14.8%	2,043	15.8%	+ 224	112.3%
データソリューション	900	7.3%	975	7.5%	+ 74	108.3%
IT合計	2,720	22.1%	3,019	23.3%	+ 298	111.0%
合計	12,331	100.0%	12,955	100.0%	+ 623	105.1%

# [個別] 業種別売上高

CYBERNET

<第4四半期>

(単位：百万円)

	15.12/4Q		16.12/4Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
電気機器	911	32.5%	791	28.1%	▲ 120	86.8%
機械・精密機器	377	13.4%	371	13.2%	▲ 6	98.4%
輸送用機器	481	17.1%	562	19.9%	+ 80	116.7%
その他製造業	337	12.0%	358	12.7%	+ 20	106.2%
教育・官公庁	255	9.1%	233	8.3%	▲ 22	91.2%
情報・通信	174	6.2%	215	7.7%	+ 40	123.4%
その他	270	9.6%	286	10.2%	+ 15	105.7%
合計	2,809	100.0%	2,818	100.0%	+ 8	100.3%

# [個別] 業種別売上高

CYBERNET

<通期>

(単位：百万円)

	15.12		16.12			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
電気機器	4,257	34.5%	4,129	31.9%	▲ 128	97.0%
機械・精密機器	1,898	15.4%	2,094	16.2%	+ 196	110.4%
輸送用機器	1,579	12.8%	1,779	13.7%	+ 200	112.7%
その他製造業	1,344	10.9%	1,619	12.5%	+ 274	120.4%
教育・官公庁	1,147	9.3%	1,118	8.6%	▲ 28	97.5%
情報・通信	758	6.2%	841	6.5%	+ 83	110.9%
その他	1,345	10.9%	1,370	10.6%	+ 25	101.9%
<b>合計</b>	<b>12,331</b>	<b>100.0%</b>	<b>12,955</b>	<b>100.0%</b>	<b>+ 623</b>	<b>105.1%</b>

# [個別] ライセンス契約別売上高

CYBERNET

<第4四半期>

(単位：百万円)

	15.12/4Q		16.12/4Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
新規契約	1,106	46.7%	954	41.2%	▲ 152	86.2%
更新契約	1,263	53.3%	1,363	58.8%	+ 100	107.9%
合計	2,370	100.0%	2,317	100.0%	▲ 52	97.8%

<通期>

(単位：百万円)

	15.12		16.12			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
新規契約	4,271	38.7%	4,222	36.8%	▲ 48	98.9%
更新契約	6,780	61.3%	7,255	63.2%	+ 475	107.0%
合計	11,051	100.0%	11,478	100.0%	+ 426	103.9%

注) 上記数値は、ライセンス契約形態をとるソフトウェア・ハードウェア・サービス売上高のみを対象としております。

# [連結] 海外子会社の状況（開発子会社）

CYBERNET

開発子会社	WATERLOO MAPLE INC.	Noesis Solutions NV	Sigmatix, L.L.C.
	カナダ	ベルギー	米国
売上前年比 (現地通貨ベース)	<b>116.8%</b>	<b>103.0%</b>	<b>115.4%</b>
売上前年比 (円ベース)	<b>100.0%</b>	<b>92.1%</b>	<b>104.4%</b>
状況	北米において大型のOEM案件を受注したこともあり、好調に推移。	最適設計支援ツールの販売が、北米においては堅調に推移したが、欧州では低調に推移。	3次元公差マネジメントツールの販売が、主力の北米においては堅調に推移したが、欧州では低調に推移。

# [連結] 海外子会社の状況（販売子会社）

CYBERNET

販売子会社	CYBERNET SYSTEMS (SHANGHAI) CO.,LTD.	CYBERNET SYSTEMS TAIWAN CO.,LTD.
	中国	台湾
売上前年比 (現地通貨ベース)	<b>97.8%</b>	<b>135.9%</b>
売上前年比 (円ベース)	<b>83.9%</b>	<b>120.1%</b>
状況	<p>主力の光学系ソフトウェアの販売が好調に推移。当社グループ製品については、STEM（※）コンピューティング・プラットフォームの販売は堅調に推移したが、最適設計支援ツールの販売は、前年の政府系含む大型案件の反動により低調に推移。</p>	<p>主力商品である光学系ソフトウェア及び他製品の販売が好調に推移。当社グループ製品については、STEM（※）コンピューティング・プラットフォーム及び3次元公差マネジメントツールの販売は低調に推移したが、最適設計支援ツールの販売が好調に推移。</p>

(※) STEM : Science, Technology, Engineering, and Mathematics (科学、技術、工学、数学) という総合的な分野の総称。

# [連結] 当期の配当の状況

CYBERNET

(単位：円)

	15.12	16.12		
	合計	第2四半期末	期末	合計
	実績	実績	予想	予想
1株当たり配当額	13.80	6.50	6.50	13.00
1株当たり当期純利益	14.87	16.16	—	14.83
配当性向	92.8%	—	—	87.7%
(参考) 純資産配当率	3.1%	—	—	3.0%





# 2017年12月期 業績予想

つくる情熱を、支える情熱。  
**CYBERNET**

# [連結] 来期の業績予想

CYBERNET

(単位：百万円)

	通期			
	17.12E	16.12		
	予想	実績	前同差	前同比
売上高	17,400	16,031	+1,368	108.5%
営業利益	1,400	1,027	+372	136.2%
営業利益率	8.0%	6.4%	+1.6P	
経常利益	1,500	1,001	+498	149.7%
経常利益率	8.6%	6.2%	+2.4P	
当期純利益	900	462	+437	194.8%
当期純利益率	5.2%	2.9%	+2.3P	

※P：ポイント

# [連結] 来期の配当予想

CYBERNET

(単位：円)

	16.12	17.12E		
	合計	第2四半期末	期末	合計
	実績	予想	予想	予想
1株当たり配当額	13.00	7.22	7.22	14.44
1株当たり当期純利益	14.83	17.01	—	28.88
配当性向	87.7%	—	—	50.0%
(参考) 純資産配当率	3.0%	—	—	3.3%

## 配当方針

当社は、2015年度より、以下のうちいずれか高い方を配当金額決定の参考指標とし、あわせて今後の企業価値向上に向けての中長期的な投資額を勘案した上で、総合的な判断により決定しております。

- ・配当性向50%
- ・純資産（株主資本）配当率3.0%

## サイバネット独自の価値の提供

- 1D CAE + 3D CAE MDS (※)
- CAE + テスト・計測ソリューションの拡大MDS (※)

連結売上高（連結売上高に占める割合）

[2014年] 127億円（82.7%） ⇒ [2020年] 259億円（86.4%）

※ MDS: マルチドメインソリューション

## 自動車関連分野に注力

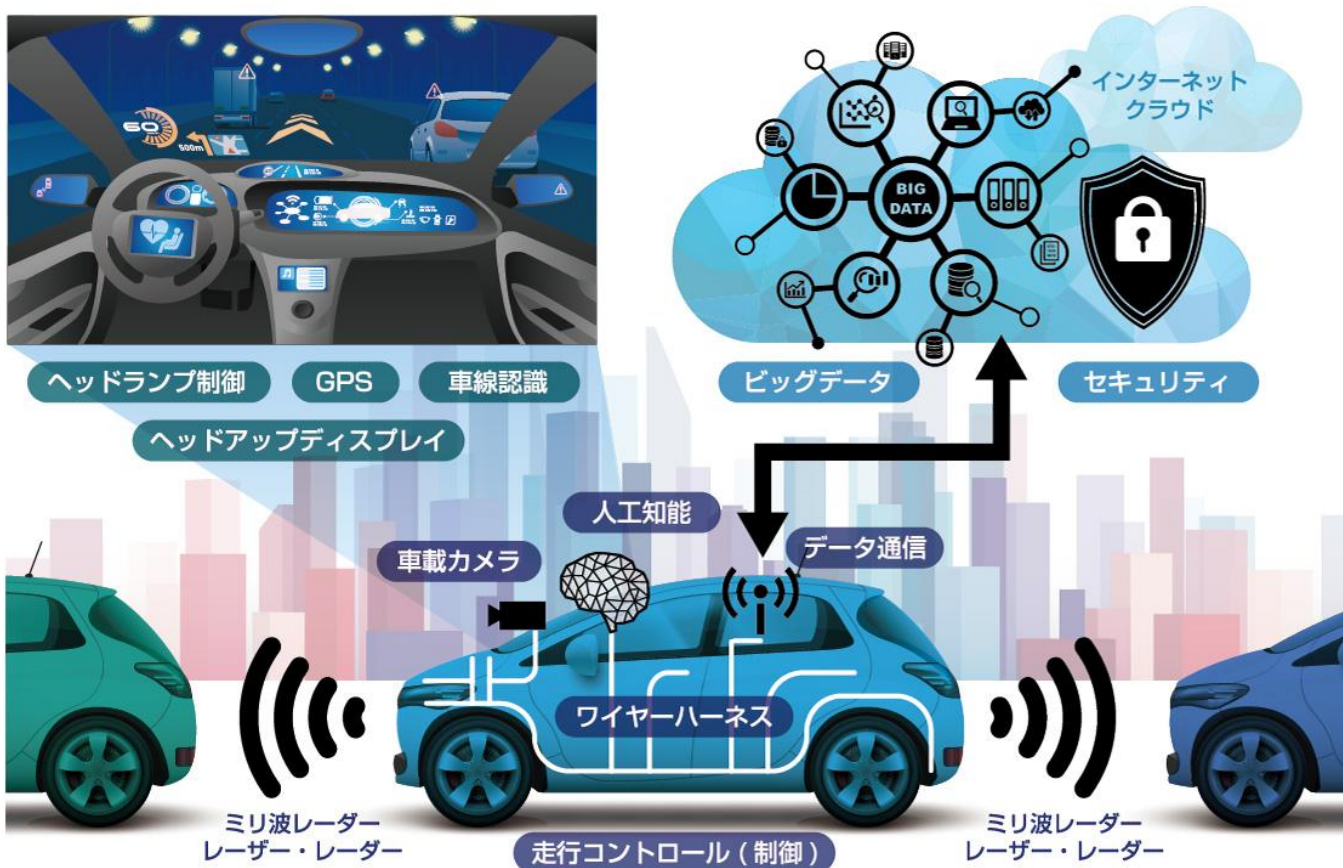
- 国内売上高（国内売上高に占める割合）

[2014年] 15億円（12%） ⇒ [2020年] 約50億円（25%）

## パートナーとの連携の強化

- グローバル&ローカルに販売/サポート体制構築
- OEM提供の推進

## 自動運転に活かされるCAE



## 研究開発を革新するCAE



当社AR技術（cybARnet）を体験！  
スマホから簡単に当社の会社紹介ムービーをご覧ください！

- ① AppStore、もしくはGoogle Play で「cybARnet」を検索（下記赤いマークが目印）
- ② アプリを起動し、画面右上のQRコード読み取りボタンをタップ
- ③ 下記QRコードを読み取り
- ④ 下記赤いマークをカメラで写すと、仮想空間に紹介ムービーが現れます！





# 参考資料

つくる情熱を、支える情熱。  
**CYBERNET**

# 会社概況（2016年12月31日現在）

CYBERNET

- ◆ 名称：サイバネットシステム株式会社（東証第一部 4312）  
Cybernet Systems Co., Ltd.
- ◆ 本社：東京都千代田区神田練塀町3番地
- ◆ 拠点：西日本支社（大阪）、中部支社（名古屋）
- ◆ 設立：1985年4月17日
- ◆ 資本金：995百万円
- ◆ 社員数：連結 594名  
個別 351名
- ◆ 事業内容：CAEソリューション及びITソリューションサービスの提供、  
各種コンサルティングの提供
- ◆ 子会社：連結 WATERLOO MAPLE INC.（カナダ）  
Noesis Solutions NV（ベルギー）  
CYBERNET SYSTEMS（SHANGHAI）CO.,LTD.（中国）  
Sigmetrix, L.L.C.（米国）  
CYBERNET HOLDINGS CANADA, INC.（特定目的会社）  
Cybernet Systems Holdings U.S. Inc.（特定目的会社）  
CYBERNET SYSTEMS TAIWAN CO.,LTD.（台湾）

CAEとは、Computer Aided Engineeringの略で、コンピュータによる工学支援のことをいい、コンピュータ上で仮想設計し、仮想実験することです。



# [個別] 業績の概況

CYBERNET

(単位：百万円)

	16.12	15.12			16.12		
	実績	実績	前同差	前同比	計画	計画差	計画比
売上高	12,955	12,331	+ 623	105.1%	13,155	▲ 199	98.5%
営業利益	1,129	1,163	▲ 33	97.1%	1,197	▲ 67	94.4%
営業利益率	8.7%	9.4%	▲ 0.7P		9.1%	▲ 0.4P	
経常利益	1,025	1,197	▲ 172	85.6%	1,197	▲ 171	85.7%
経常利益率	7.9%	9.7%	▲ 1.8P		9.1%	▲ 1.2P	
当期純利益	575	665	▲ 89	86.5%	672	▲ 96	85.6%
当期純利益率	4.4%	5.4%	▲ 1.0P		5.1%	▲ 0.7P	

※P：ポイント

## ■ 経営企画・IR室

住 所	〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3番地
T E L	03-5297-3066
F A X	03-5297-3609
E – M A I L	irquery@cybernet.co.jp
We bサイト	<a href="http://www.cybernet.jp/">http://www.cybernet.jp/</a>

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したものです。その安全性を保証するものではありません。

また、資料に記載された意見や予測は資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら保証するものではありません。

記載された内容が予告なしで変更することもありますのでご注意ください。

投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

つくる情熱を、支える情熱。  
**CYBERNET**